

CONTENTS

- 支部見聞録 (信越支部) 2
From長野 [秋季大会拡大版]
- LS研総合発表会2018 6
- ICT基礎講座Close-Up 10
次世代モビリティを支える5G
- トップは語る 14
シンポー情報システム株式会社
代表取締役社長 中溝 正俊氏
- 講演録 16
公立はこだて未来大学
副理事長兼教授 松原 仁氏
- HUMAN HUMAN 18
早稲田大学高等学院数学科教諭
早稲田大学理工学術院兼任講師
早稲田大学複雑系高等学術研究所
研究員 柳谷 晃氏
- Family's Information 19

Family 2018 384号



表紙のことば (日本の鳥シリーズ)

関西支部

コマドリ (奈良)

全長14cm程度の鳥で、オスメスともよく似た色彩をしている。日本には夏鳥として渡来し、標高の高い場所で繁殖する。さえずり声美しいことから、ウグイス、オオルリとともに「日本三鳴鳥」と呼ばれる。

奈良県では、繁殖環境であるスズタケ植生が消滅したことなどから、近年、個体数が減少。スズタケの復元などが検討されている。

支部見聞録 / 信越支部

From 長野

二千年の歴史をもつ戸隠神社 その「宿坊」の魅力と可能性



戸隠中社・宝光社地区にある「宿坊極意」。茅葺屋根は厚さ1メートル半に及び

長野県には、松本城や大法寺三重塔、善光寺本堂などの有名な国宝建造物が存在し、スキー場や森林セラピーのメッカとしても多くの人々が訪れる。また、総務省の調査によれば、2016年の移住相談件数は長野県が日本一。首都圏からのアクセスの良さもあり、移住先としても人気が高い。今回は、長野の地で二千年余りの歴史をもち、近年「宿坊」の人気が高まるなど、新たな展開を迎えている戸隠神社を紹介する。

二千年の歴史をもつ 戸隠神社と宿坊街の発展

天照大神あまてらすおみがお隠れになり、世の中が暗闇に包まれた。日本神話で有名な岩戸隠れの一節だが、その時に天手力雄命あまのぢからという神様が力を込めて開いた扉が宙を飛び、落ちたところが長野県にある戸隠山と伝わっている。

古くから神話の舞台として、修験道の行場として、創建以来二千

年余りの歴史を刻む戸隠神社。険しい山中にありながら鎌倉時代には「戸隠十三谷三千坊」と呼ばれるほどに栄え、一時は武田信玄と上杉謙信の戦に巻き込まれて衰退するものの、徳川家康の信仰を得た江戸時代には信州の霊山としてその名が響き渡った。

戸隠の現代に続く大きな特徴の1つに宿坊がある。「宿坊」とはお寺や神社の宿泊施設のこと。原型は平安時代に熊野や伊勢で生まれた

貴族の祈願取り次ぎの宿とされ、次第に日本各地の有名寺社に宿坊街が作られていく。戸隠では善光寺信仰とも組み合わせられて多くの参拝者が訪れ、それに伴い宿坊も発達した。その後、明治時代の廃仏毀釈で多くの堂宇が破壊されたが、現代にまで宿坊街を残した数少ない霊地として今も賑わっている。

2017年には重要伝統的建造物群保存地区に

戸隠といえば、人によっては真っ先に思い浮かぶのがそばかもしれない。このそばも古くから宿坊で振る舞われてきたものだが、そばは火山灰土のやせた寒冷地に適した植物で、水はけがよく寒暖の差が激しい戸隠には最適な農作物だった。

戸隠の宿坊で出されるそばには、その盛り方にも特徴がある。根曲がり竹で編んだざるに五つの束を並べた「ぼっち盛り」が知られており、これは岩戸隠れの物語に登場し、戸隠神社を構成する五社の神様を現したものだ（地蔵堂のお地蔵様を加えて、「六ぼっち」になることもある）。食事さえも神話や神社のご由緒に結びつのが、宿坊の良さかもしれない。

戸隠五社の一つ、宝光社の参道前にある宿坊・お宿諏訪の聚長（＝宿坊の神職）諏訪 雅彦さんは次のように語る。

「宿坊は昔から、戸隠講と呼ばれた信仰者達を受け入れてきた宿でした。時代が変わり、一般の方も気軽に泊まれるようになりましたが、神様と人をつとむ姿勢は大切にしたいと考えています」。

宿坊はただの宿ではない。館内には御神殿があり、日によっては朝拝（朝のご祈祷）に参列することもできる。宿泊すること自体がお参りであり、神様を感じる1つ

の機会にもなっている。

そんな戸隠に2017年、大きなニュースが飛び交った。宿坊群としては全国で初めて、街並みが重要伝統的建造物群保存地区に選定されたのだ。この制度は伝統的建造物群保存地区のうち、国が特に価値の高さを認めた地域が選ばれるもの。戸隠は標高1000メートルを超える高地に成立した信仰集落であり、茅葺屋根の建物が多く残されていることが評価されている。茅葺は維持に費用と労力がかかる。このため次世代に伝えていくことは容易ではないが、地元では指定を受けたことで整備しやすくなること歓迎の声が上がっていた。

また、もうひとつの新たな動きとして、柱松神事の復活が挙げられる。これは鎌倉時代に起源を持つものの、江戸時代末期に途絶えてしまった一大神事だ。2003年に再誕した柱松神事は、「特別祈禱祭」「行列」「柱松山伏（松山伏）の入峰修行」「験比べ」「祭り」「直会」の6つの流れから組み立てられ、中でも戸隠独特の根曲竹や木で作られた柱松に火をつけ、世情を占うという祭りは迫力がある。数々の儀式が信仰を伝える大切な機会となることはもちろん、戸隠で一番重要とされる七年に一度の式年大祭の間を受けもつお祭りとして、観光促進の役割も期待されている。

海外からの旅行者も増加し、新たな展開を迎える

長野駅からバスで一時間ほどかかる戸隠でも、海外からの旅行者が増えてきた。戸隠の入り口といえる宝光社地区や茅葺屋根の建物が並ぶ中社地区はもちろん、杉並木の参道を歩かなければ辿り着かない奥社でも外国人の姿が目につく。

戸隠としても海外へのアピール



戸隠神社五社の1つ「中社」



「ぼっち盛り」のそば



宝光社の参道前にある宿坊「お宿諏訪」の客室



「お宿諏訪」の聚長・諏訪 雅彦さん

には積極的に、今年はフランスに出向いての出張神楽が計画されているという。地元の中でも特に訪日旅行者の誘致に積極的な宿坊のひとつ、越志旅館の館内には、宿泊者の出身国を示した世界地図が張り出されている。これを見ると、アジア、北南米、ヨーロッパ、オセアニア、アフリカ大陸など、世界中の人が訪れていることが伝わってくる。宿泊者の中には神道に感銘を受け、お札を毎年送ってほ

しいと依頼する方や、定期的に参拝旅行に訪れる方、神前で結婚式を希望する方もいる。こうした方は形は違っても、新しい時代の戸隠講と呼べるのかもしれない。

オリンピックの開催やアジアの経済発展を気運に、戸隠のみならず宿坊自体の注目度も高まっている。世界遺産となった和歌山県の高野山は有名だが、山形県の出羽三山や東京の御岳山、神奈川県の大山、山梨県の身延山など、各地の宿坊街もこの気運に乗り始めている。また、民泊がスタートして旅館業の許可を必要とせず有料で人が泊められるようになった現在、この制度を活用した宿坊開設支援サービスも生まれている。日本には温泉地は3000カ所

以上あるが、宿坊があるところはまだ限られている。その意味では競合も少なくフロンティア状態といってもよい。

戸隠はこれからどうなっていくのか。前述の諏訪さんによれば、「これからは従来の講に所属する方が減っていき、黙っていても人が来る時代は終わりを告げる。しかし戸隠には素晴らしいものがたくさんあり、それを伝えることで新しい人とも関係を結びながら、先人が守り伝えてきたものをつなげていきたい」とのこと。

大きな追い風もあれば、逆風とも向き合っている。戦国時代や廃仏毀釈といった時代の節目を乗り越えた戸隠だからこそ、これからの新たな歩みに注目したい。



戸隠神社の御本社である「奥社」



「越志旅館」宿泊者の出身国を示す地図

取材・執筆：堀内 克彦 (宿坊研究会)
取材協力：お宿諏訪、宿坊極意、越志旅館

2018 秋季大会

10/18 (木) - 10/19 (金)

- 開催期日：2018年10月18日(木)～19日(金)
- 開催場所：ビッグハット(若里市民文化ホール)、ホテルメルパルク長野
- 募集定員：2000名(2日間)

1日目 10月18日(木)

ビッグハット(若里市民文化ホール)

● 信越ウエルカムイベント 13:20～13:40

「善光寺木遣り(ぜんこうじきやり)」

演者：善光寺木遣り保存会



● 特別講演 14:10～15:10

「ホクトの過去、現在、そして未来へ」

ホクト株式会社

代表取締役社長 水野 雅義 氏



● 記念講演 15:30～16:30

「どこまでも挑戦」

長野オリンピック スピードスケート

女子500M 銅メダリスト

岡崎 朋美 氏



● セッション 16:50～17:50

① 歴史・文化講座

「絵解きで伝える善光寺参り」

長野郷土史研究会 副会長

小林 玲子 氏



② LS研究委員会研究報告

「ブロックチェーン技術の適用に関する研究」

～必見!今すぐ出来る実証実験 リーディング

カンパニーへの第一歩～

第一生命情報システム株式会社

個人保険システム第一部 ワークフログループ

前原 恵一 氏



③ 人財育成講座

「姿勢が変われば、人生も変わる!」

姿勢クリエイター

花岡 正敬 氏



● 懇親会 18:05～19:30

立食パーティー 有料

2日目 10月19日(金) 19日のみのご参加、もしくは午前のみ、午後のみのご参加も可能です。

新企画として「セミナー・人財育成研修」を加えた「スキルアップ&コミュニケーションプラン」をご用意。視察を中心とした「コミュニケーションプラン」といずれかをお選びいただけます。是非とも参加いただけますようお願い申し上げます。

●**スキルアップ&コミュニケーションプラン NEW**

スキルアップ&コミュニケーションプランは、以下のお好きなプランを組み合わせでお選びいただけます。「セミナー・人財育成研修」を受講された方向けに、午後半日の視察を4コースをご用意しております。午後の交流行事ご参加の方には昼食がつきます。

9:00~12:00 無料

セミナー

または 無料

人財育成研修

12:20~17:00頃 有料

交流行事 A~D 半日視察コース

◆**セミナー**

ホテルメルパルク長野 1F メルパルクホール 募集定員：600名

セミナーI 9:00~10:00

「スポーツの魅力を高めるICT」
～富士通のスポーツビジネスの取組みについて～
富士通株式会社
東京オリンピック・パラリンピック推進本部
本部長代理 保田 益男 氏



セミナーII 10:20~11:50

「AI、RPA が牽引する新しい働き方」
富士通株式会社
常務理事 首席エバンジェリスト
中山 五輪男 氏



◆**人財育成研修 9:00~12:00 [対象：中堅・若手層]**

ホテルメルパルク長野 10F ミル・クレマンس 募集定員：100名

有限会社志縁塾
代表取締役 人材活性プロデューサー
(元 吉本興業株式会社 プロデューサー)
大谷 由里子 氏



グリットコンサルティング合同会社 代表
元 日本通運株式会社 CIO
野口 雄志 氏



◆**交流行事 (半日視察コース) 12:20~17:00頃**

A **ホクト株式会社「きのこ工場見学」と「食育講座」**
きのこ生産量・売上ともに国内トップクラスの実績を誇るホクト株式会社様を見学します。(定員60名)

B **善光寺参拝(ガイド付)**
長野観光の定番スポット 国宝「善光寺」でご利益をいただきます。(定員80名)

C **小布施フリー散策と善光寺参拝(ガイド付)**
葛飾北斎などの歴史的遺産を多く抱え、栗でも有名な「小布施」と国宝「善光寺」を巡ります。(定員80名)

D **信州のワイナリー探訪**
長野の有名ワイナリーとして知られるサンクゼール・ワイナリーをお楽しみください。(定員40名)



●**コミュニケーションプラン**

コミュニケーションプランは、秋の信州地方をめぐる視察4コースとゴルフコースからお選びいただけます。 有料

E **一度は訪れたい長野の国宝めぐり [日帰り]**
江戸時代中期を代表する寺院建築として国宝に指定されている「善光寺」、湧水の宝庫「松本」「安曇野」をめぐる。(定員80名)

F **長野のパワースポット [日帰り]**
平安時代からの歴史を残す「戸隠神社」や芸術や文学にふれ合える「小布施」、国宝に指定されている「善光寺」など、長野の名所をめぐる。(定員80名)

G **真田ゆかりの歴史探訪 [日帰り]**
「上田城」や「川中島古戦場跡」、「松代城跡・真田宝物館」など長野における戦国時代の様々な歴史の足跡をたどります。(定員80名)

H **安曇野と上高地めぐり [1泊2日]**
北アルプスの湧水を利用した「わさび」や、日本を代表するダイナミックな景色など長野ならではの印象的なスポットをめぐる。(定員20名)

Golf **懇親ゴルフ会 [日帰り]**
長野を代表する高原コースでのプレーをお楽しみください。(定員40組160名)

※コース・費用の詳細は別パンフレットをご覧ください。